

ACANTHUS NEWS



「アカンサス」(和名「ハアザミ」)は、南ヨーロッパ原産で葉を様式化した文様はギリシャ建築などで有名。金沢大学の校章も、このアカンサスの葉を図案化したもの。

平成13年 **2001.7**

月刊アカンサスニュース
金沢大学広報紙 第59号

TOPNEWS

平成9年度，10年度 入学者選抜試験合否判定ミス

6月18日，臨時評議会が開催され，平成9年度，10年度入学者選抜試験で理学部の合否判定にミスがあったことが報告され，直ちに，不合格とされた受験生への対応，判定ミスの原因の分析と今後の防止策等についての検討を行う入学試験調査特別委員会（委員長：林学長）が設置された。

評議会終了後，林学長が記者会見を行い，説明のうえ謝罪した。

〔2頁に関連記事〕



記者会見に臨む左から水上事務局長，花岡副学長，林学長，畑副学長，和田副学長，鈴木治彦理学部評議員（学部長代理）
＝事務局第2会議室で



南極昭和基地の冬景色

「極夜になって間もない6月5日の映像です。昼時間を知らせるサイレンを聞き，建物から外に出ると見事な景色でした。慌ててカメラを取りに居住棟まで走りました。方角は北。地平線より下を通過する太陽が，一面に広がった雲を色鮮やかに照らし出した瞬間でした。」

久保栄南極観測越冬隊員（技術支援センター技術専門職員）から

入試判定ミス

平成9年度、10年度入学者選抜試験で理学部の合否判定ミスについてのお詫びが発表された。他に学生に対しても謝罪文が掲示された。

受験生とその保護者及び国民の皆様へ

平成13年6月18日

金沢大学長

このたび、平成9年度及び平成10年度入学者選抜試験にかかる金沢大学理学部物理学科及び化学科の合否判定において、大学入試センター試験の配点で電算処理上のミスがあったことが判明いたしました。

この結果、平成9年度5人、平成10年度1人の受験生が、合格しているにもかかわらず不合格と判定されてしまいました。

高等教育をあずかり、有為な人材育成を第一義としている大学が、あつてはならないミスを犯し、受験生の人生を大きく狂わせたことに心からお詫び申し上げます。

今後は、不合格とされた受験生には、判定ミスによって生じた諸々の事項に誠意を持って対応していきたいと存じます。また、学内に入学試験調査特別委員会を設置し、ミスの原因分析を行い、このような不祥事が二度と起こらないように努力する所存です。

このたびのことを真摯に受け止め、国民の皆様からの信頼回復に努めるとともに、更なる教育研究の発展につなげたいと考えています。

このことをここにお誓いし、心からの謝罪といたします。

(金沢大学ホームページに掲載)

教職員 各位

平成13年6月18日

入学者選抜試験における合否判定ミスについて

学 長

このたび、平成9年度及び平成10年度入学者選抜試験にかかる理学部物理学科及び化学科の合否判定において、大学入試センター試験の配点について電算処理上のミスがあったことが判明しました。

この結果、平成9年度5人、平成10年度1人の受験生が合格しているにもかかわらず、不合格と判定されてしまいました。

入学者選抜試験において、ミスはあつてはならないことであり、受験生や保護者はもちろんのこと、国民の皆様に対し、深くお詫び申し上げます。

今後は、失った本学の信用を回復するため、最大限の努力をしていきたいと考えておりますので、教職員各位の御協力を切にお願いいたします。

(全学の教職員にEメールで通知)

目

次

平成9年度、10年度 入学者選抜試験合否判定ミス …	1	全学で美化週間 ―夏に備えて― ……………	7
南極昭和基地の冬景色 ……………	1	角間第II期新営工事 地元住民説明会ひらく ……………	8
入試判定ミス ……………	2	金沢大学に来たれ！進学わくわくライブ2001に参加 ……………	8
シンポジウム「男女共同参画社会の法と制度」を開催 ……………	3	『こわいのな 思いこむこと 慣れること』 ―国家公務員安全週間の標語に佳作入選― ……………	8
金沢大学環境マネジメントフォーラム ―我々ができる地球環境に対する取り組みについて― ……………	3	「交通安全講習会」 ……………	9
博士(医学)の学位記授与式 ……………	3	「学生と教官との懇談会」 ……………	9
御遺骨返還式・文部科学大臣感謝状伝達式挙行 ……………	4	附属学校で運動会 ……………	9
本学寄付者に 紺綬褒章伝達 ……………	4	本学へのお客さま ……………	10
感謝状を贈呈 ……………	4	医学部附属病院新病棟を見学 ……………	10
「学術研究の発展を」 日本学術振興会事業説明会 ……………	5	『ネパールは今?』 ……………	11
十全医学会学術集会 ―再生医学と幹細胞― ……………	5	サテライトで語る ……………	11
大学の社会貢献 ―技術移転を考える― ……………	5	編集後記 ……………	11
21世紀を担う薬剤師の資質向上に向けて ……………	6	「角間の昆虫」小展示 ……………	12
2001年日本留学フェア ……………	7	学生・留学生・教職員150名が一体に 第50回百万石まつりパレード ……………	12

6月のニュースの杜

シンポジウム「男女共同参画
社会の法と制度」を開催

6月4日、本学、日本学術会議公法学研究連絡委員会及び石川県が共催して、シンポジウム「男女共同参画社会の法と制度」が開催され、約300名が参加した。

主催者代表のあいさつで畑副学長が、日本国憲法及び民法の成立当時における理念等に触れ、男女共同参画の実現を達成することの必要性について述べた。

続いて、パネリスト6名がそれぞれの専門の立場から、男女共同参画の意義について発言があり、和田副学長が、「金沢大学における男女共同参画への取組み」と題して報告した。



あいさつする畑副学長
=石川県女性センターで

金沢大学環境マネジメントフォーラム

—我々ができる地球環境に対する取組みについて—



あいさつする早川和一環境マネジメント委員会委員長(薬学部教授)
=大学会館で

6月20日、本学環境マネジメント委員会主催の「金沢大学環境マネジメントフォーラム—我々ができる地球環境に対する取組みについて—」が大学会館で開催され、約150名の教職員が参加した。

早川和一環境マネジメント委員会委員長(薬学部教授)の開会のあいさつに続いて、中原秀樹武蔵工業大学教授が「大学におけるISO14001認証取得の意義」と題して講演し、また、早川委員長が「金沢大学における環境マネジメントの取組みについて」と題して報告した。

博士(医学)の
学位記授与式

6月19日、医学部記念館で大学院医学系研究科の学位記授与式が挙行され、博士課程修了者40名、学位論文提出者8名の計48名に博士(医学)の学位記が授与された。



学位記を授与する花岡副学長
=医学部記念館で

6月のニュースの杜



追悼の言葉を述べる馬淵宏大学院医学系研究科長・医学部長
＝医学部十全講堂で

御遺骨返還式・ 文部科学大臣感謝状伝達式挙行

6月16日、医学部十全講堂で献体者に対する御遺骨返還式及び文部科学大臣感謝状伝達式がしめやかに挙行され、御遺族、医学部関係者約500名が出席した。

式では、医学教育発展のために献体された方々に対して、全員による黙とうと献花が捧げられ、故人33名の冥福を祈った。続いて馬淵宏大学院医学系研究科長・医学部長が追悼の言葉を述べた。

午後からは、第99回合同慰霊祭が行われ、病理解剖者並びに献体者を含めた192名の方々の霊を偲んだ。

本学寄付者に 紺綬褒章伝達

昨年12月に医学研究の助成を目的に本学へ寄附していただいた功績を称えて、6月11日に山口茂雄さんに、同月28日には徳澤美代子さんに対して、内閣総理大臣の紺綬褒章が林学長から伝達され、併せて林学長の感謝状が贈られた。



林学長から紺綬褒章を伝達される山口茂雄さん
＝6月11日、事務局内で

林学長から紺綬褒章を伝達される徳澤美代子さん
＝6月28日、事務局内で

感謝状を贈呈

6月6日、角間キャンパス総合教育棟周辺に樹木を寄附していただいた株式会社城西に対して、林学長から感謝状を贈呈した。アンズ、クスノキをはじめ147本の樹木が、学生・教職員に憩いと潤いを与えている。



林学長から感謝状を贈呈される株式会社城西代表
＝事務局内で

6月のニュースの杜

「学術研究の発展を」 日本学術振興会事業説明会

6月29日、事務局で、本学主催の日本学術振興会事業説明会を開催し、約40名が参加した。

冒頭のあいさつで小林昭国際学術交流委員会委員長（経済学部部長）は、昨年の説明会の後、本学の日本学術振興会各種助成事業の採択率が倍増したことを紹介し、「今後もこの実績が伸びるようにしていきたい。」と述べた。

続いて、日本学術振興会国際事業部の福井浩一国際研究協力課国際研究協力係長及び清水美和人物交流課交流係長が、共同研究・セミナー事業、特定国派遣事業、重点研究国際協力事業等の概要及び現状、並びに外国人を含む研究者の招へいについて説明した。



あいさつする小林昭国際学術交流委員会委員長
＝事務局大会議室で

十全医学会学術集会 －再生医学と幹細胞－

第17回目の平成13年度十全医学会学術集会が、6月2日、医学部の記念館において「再生医学と幹細胞」を主題として開催された。集会には、京都大学再生医学研究所の中辻憲夫教授、東京大学医科学研究所の中福雅人助教授、横田崇教授、熊本大学発生医学研究所の須田年生教授の4名をゲストスピーカーに加えて、本学から遺伝子改変動物学の浅野雅秀医

学部教授と脳機能制御学の長谷川光広医学部附属病院助教授が指定発言者として参加し、議論が交わされた。学生を含め過去最高の150名が参加した。



総合討論する講演者
＝医学部記念館で

大学の社会貢献

－技術移転を考える－

6月8日、共同研究センター主催の「大学の社会貢献－技術移転を考える－」が工学部秀峯会館で開催され、約70名が参加した。

開会のあいさつで、岡島厚工学部教授は「今回のシンポジウムを、特許やTLOについて考える機会としたい。」と述べた。

シンポジウムでは、塚本修巳横浜国立大学共同研究推進センター長による「よこはまTLOを立上げて」、後藤裕共同研究センター助教授による「金沢大学での産学連携の動き」及び本郷毅東洋紡績(株)理事知的財産部長による「企業における特許戦略と実際」と題して順次報告された。



あいさつする岡島厚工学部教授
＝工学部秀峯会館で

薬学教育・いま

21世紀を担う薬剤師の資質向上に向けて

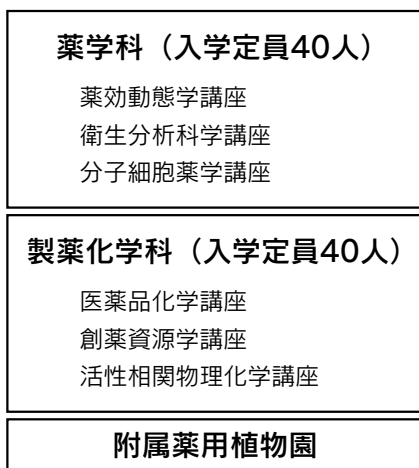
薬学部学科改組（2学科から1学科へ）

薬学部長
辻 彰

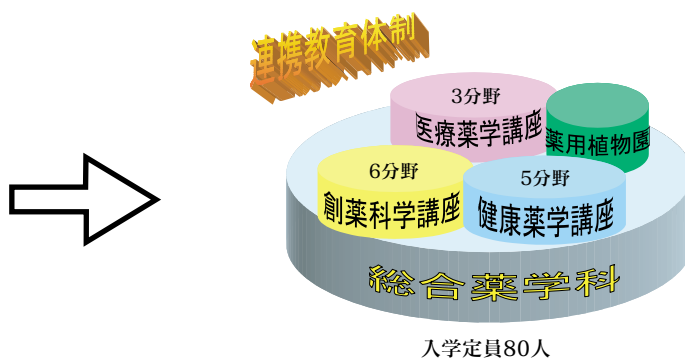
彰

高齢化社会の到来と医療の高度化・先端化、さらに環境に対する意識の昂揚等から、「医療の担い手」としての薬剤師、新規医薬品の開発や環境保健衛生に携わる研究者・技術者（薬剤師）の養成が社会的に強く求められています。この社会的要請に応えるため、薬学部は21世紀の医療を担う高度の薬剤師の養成を目標に据え、平成14年度から改組されるとこれまでの2学科（薬学科・製薬化学科）が1学科（総合薬学科）になり、総合的に連携した教育研究体制となります。

改組前 現行



改組後 改組計画



※（改組計画は、平成14年度実施に向けて概算要求等を行っている。）

改組の概要

- ・ 目的重点型1学科への改組
- ・ 3大講座制
- ・ 医療薬学教育の充実と必修化
- ・ 連携教育体系の確立

期待される効果

- ・ 高度の専門職業人としての薬剤師の養成
- ・ 21世紀の医療の高度化・多様化及び国際化に対応できる課題探求能力と問題解決能力の育成

教育目標

医薬品の適正使用・管理に貢献する薬剤師の養成

国民の健康保持並びに疾病の予防・治療に貢献できる人材の養成

新薬の開発などに貢献する研究者（薬剤師）としての基礎教育

疾病構造の複雑化とヒトゲノム機能解析の進展に伴う、21世紀の医療の高度化に対応できる基礎・素養を身につけた人材の養成

環境・衛生・薬事行政従事者（薬剤師）の養成

地球規模における環境問題や国際社会における健康と医薬品の関連等に携わる行政官として活躍できる人材の養成

薬学教育研究拠点の改組改革

トピックス

2001年日本留学フェア

6月25, 26日の2日間、インドネシアのジャカルタで(財)日本国際教育協会主催の2001年日本留学フェアが開催された。本学からはルチラ・パリハワダナ留学生センター助教授並びに中野兼一留学生教育企画係員の2名が参加して、積極的に情報提供に努めた。本学ブースへの訪問者は2日間で延べ250名を数えた。



楽しく懇談する訪問者
= 同右



留学相談に応じる
ルチラ・パリハワダナ留学生センター助教授
= 6月26日、バライシダンジャカルタコンベンションセンターで

全学で美化週間 — 夏に備えて —

6月11日から16日までの1週間を美化週間として、教職員、学生による除草、清掃が全学で実施された（実施日程は下表のとおり）。なお、この美化週間は、秋にも予定されている。



多数の学生が参加して（工学部）



草刈りに力を入れる職員（角間キャンパス）

事務局				文、法、 経済学部	教育学部
総務部	経理部	学生部	施設部		
6月11日	6月12日	6月13日	6月18日	6月1日	6月8日

理学部	医学部 医学科	医学部 保健学科	附属病院	薬学部	工学部	附属図書館
6月13日	6月7日	6月1日	6月21日	6月4, 5日	5月21日~6月1日	6月8日

トピックス

角間第Ⅱ期新営工事 地元住民説明会ひらく

6月30日、角間第Ⅱ期移転用地に建設される自然科学研究科総合研究棟等の新営工事について、地元住民への説明会が開催された。

延べ約13万㎡となる理学部、薬学部、工学部及び自然科学研究科等の総合研究棟は、本年度に着工を予定しており、説明会には、地元の若松・田上地区の10町会から計32名が出席した。



説明会であいさつする前田施設部長
＝事務局大会議室で

金沢大学に来たれ！ 進学わくわくライブ2001に参加

6月16日、石川県産業展示館で民間企業が主催する進学わくわくライブ2001に本学が参加して、入学相談を受け付け

た。併せて模擬講義では、米田幸雄薬学部教授が「未知なる脳の神秘」と題して講義し、約60名の参加者が生の講義を体験し、仕事コーナーでは、関昌家医学部助教授がリハビリテーション医学の分野での活動を紹介した。



模擬講義を行う米田幸雄薬学部教授
＝石川県産業展示館で



進学相談を受ける
浅野和彦入試課専門職員
＝石川県産業展示館で

『こわいのは 思いこむこと 慣れること』

－国家公務員安全週間の標語に佳作入選－

本学の医学部附属病院の高橋外美子看護婦＝写真＝の作品『こわいのは 思いこむこと 慣れること』が約2,000点の応募の中から、見事佳作に入選した。

高橋さんは「常に気持ちを新たにして初心にかえることが基本であり、最も重要なことだと思います。この標語を、自分自身へのメッセージとして大切にしていきたい。」と話した。

なお、平成13年度国家公務員安全週間の標語は、『潜む危険に注意力 危険回避にチーム力』に決定した。



医学部

「交通安全講習会」

6月26日医学部講義室で、学生の交通安全の意識を高め、事故の抑制を図ることを目的に「交通安全講習会」が実施された。約270名の参加者は講師の話を熱心に聞き入っていた。



交通安全について指導する金沢中警察署員
=医学部講義室で

「学生と教官との懇談会」



要望事項を説明する学生
=医学部会議室で

6月25日、医学部会議室で毎年恒例の「学生と教官との懇談会」が開催され、学生23名、馬淵宏医学系研究科長・医学部長をはじめ教職員23名の計46名が出席した。

最初に教職員側から、医学部の現状、医学教育モデル・コア・カリキュラムの現状と本学の取組み状況、今後予定している進学進路説明会、交通安全講習会等について説明があった。

学生側からは、予め提出された要望事項について各学年ごとに説明が行われた。

附属学校で運動会

5月27日から6月8日にかけて、教育学部附属学校の養護、小、中、高校で運動会が順次行われ、それぞれの学校では、元気な児童・生徒の姿があった。



騎馬戦
=5月29日、附属小学校で



玉転がし
=5月29日、附属中学校で

トピックス

本学へのお客さま

※学長表敬, 意見交換及び本学視察等のため来学

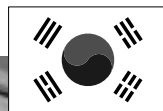


第一軍医大学 (中華人民共和国)

左から 羅 深秋 (日本語教育担当) 教授
 李 康学長
 林 学長
 馬淵医学系研究科長・医学部長
 山本 博医学部教授

=6月11日, 学長室で

※学長表敬, 特別講演及び本学視察等のため来学



国立釜慶大学校自然科学大学 (大韓民国)

左から 鈴木正樹理学部教授
 朴 東俊助教授
 權 赫東学長
 林 学長
 和田副学長
 田子精男理学部教授

=6月15日, 学長室で

医学部附属病院新病棟を見学

6月12日, 事務局長をはじめ, 25名の部課長が医学部附属病院新病棟を見学した。
 なお, 新病棟は本年10月1日にオープン予定です。



左から和田出静子看護部長, 水上事務局長,
 齊藤信一郎医学部附属病院事務部長, 平野雄喜男建築課長
 =医学部附属病院新病棟屋上で

「金沢大学サテライト・プラザ」

『ネパールは今？』

6月30日、「サテライト・プラザ」で北陸人類学研究会（文学部文化人類学研究室）と石川ネパール協会共催の、『ネパールは今？』と題したフリー講座が開催され、約30名が参加した。

講座では、鹿野勝彦文学部教授が「ネパールの王制を考える」と題して、ネパール王室の歴史的背景、多民族国家の中

での位置付け及びその役割の変化などについて講義した。



講義する鹿野勝彦文学部教授
=6月30日、「サテライト・プラザ」で

サテライトで語る

第1回：問谷元子さん「書を楽しみながら」



自作の書について語る問谷元子さん
=6月2日、「サテライト・プラザ」で

6月2日、学生部の問谷元子学務情報係長が、「書を楽しみながら」と題して語り、約50名が参加した。

また、サテライト・プラザ「大学市民交流サロン」で5月31日から6月4日まで開催された問谷さんの書展覧は盛況のうちに幕を閉じた。

第2回：市村秀夫さん「角間移転にかかわって—大学事務あれこれ—」



角間移転について語る市村秀夫さん
=6月30日、「サテライト・プラザ」で

6月30日、元経理部企画調査課長市村秀夫さんが、「角間移転にかかわって—大学事務あれこれ—」と題して語り、約20名が参加した。

語る会では、金沢城内から角間への大学移転、それに伴う土地購入及び関係機関との手続きなど、当時の苦労話に花が咲いた。

編 集 後 記

本号トップに、「入試合否判定ミス」を載せることになった。このことに関し、学長を先頭に、謝罪、対応、原因究明、処理等に多大の労力を払われたが、「アカンサスニュース」は写真を中心としているため、その内容をお伝えするのは難しいことを御理解いただきたい。

南極越冬隊員の久保栄さんから写真が届いた。説明に「極夜」と書かれており、この字句は『広辞苑』にない。当人に連絡することが難しいので、そのまま載せることにした。

今月も、南極からのたよりははじめ、海外で実施された「留学フェア」への参加から、学内外でのフォーラム

やシンポジウム、研究会など、全学で非常にたくさんの方が行われた。部局から写真や記事の提供を受けて、盛り沢山の記事としてお知らせすることができたことに感謝したい。

「アカンサスニュース」は、例年のとおり8月号は休刊とさせていただきます。皆さまにおかれても健康に留意され、猛暑を乗り切るようお祈りし、編集担当者を代表して暑中のお見舞いを申し上げます。

(総務部企画広報室長 寺井 嘉治)

百万石まつり

「角間の昆虫」小展示

「サテライト・プラザ」1階の「大学・市民交流サロン」で、「角間の昆虫」小展示を「百万石まつり」開催期間に合わせて6月8日から11日まで開いた。

期間中、「角間の昆虫」の標本（資料提供は中村浩二理学部教授）、「角間の自然」及び「自然学校活動」の写真により、「角間の里山自然学校」発足から約2年間にわたる活動の記

録を市民に向けて紹介した。



学生・留学生・教職員150名が一体に
第50回百万石まつりパレード

6月9日、第50回百万石まつりの「百万石行列パレード」に、昨年に続いて参加した。3回目となる今回は、鈴木漠大学教育開放センター教授、水上事務局長を先頭に、学生、外国人留学生、教職員が総勢約150名で参加し、メインスタンドから林学長、花岡副学長がパレードの参加者を激励した。

パレードでは、能登地方に伝わる伝統の「キリコ」5基に、「加賀は天下の書府」「知の集積 金沢大学」、「あなたが主役 舞台は金沢大学」などを書いて、金沢市内を威勢よく練り歩いた。「地域と世界に開かれた金沢大学」をメインテーマとして、「金沢大学サテライト・プラザ」オープン、附属病院病棟新築オープン、公開講座や「角間の里山自然学校」などを、見物客約43万人に呼びかけ、本学を大きくアピールした。

水上事務局長



林学長（中央）と
花岡副学長（左）



平成13年7月27日発行
(原則として毎月1回第3週に発行)

〒920-1192 金沢市角間町
編集 金沢大学総務部企画広報室

TEL 076-264-5022
FAX 076-234-4015

◆本紙の内容、その他の本学に関する諸情報については、「金沢大学ホームページ」(愛称“KUPIS” (キューピーズ))
(アドレス=<http://www.kanazawa-u.ac.jp>)でもご覧いただけます。
◆本紙に関する御意見・御要望などは、電子メール (E-mail) = general1@kenroku.kanazawa-u.ac.jp でも受け付けています。